

SDGs 取り組みレポート

2020年度版



安全で楽しいクルマ社会の実現

誰もが安全なクルマ社会の実現を目指して



四国スバルでは、クルマに関わる全ての人たちの安心・安全を願っています。

SUBARU独自の運転支援システム「EyeSight」搭載車両をはじめ、安全なクルマの普及に取り組み、「2030年交通死亡事故ゼロ」を目指しています。

2020年、四国スバルで販売させて頂いた登録車
935台中、「EyeSight」搭載車は868台、
搭載率は92.8%となります。

これからも、安全に運転いただけるクルマをご提案・販売していく事で、誰もが安全なクルマ社会の実現を目指して参ります。



店頭では、運転支援システム「EyeSight」の性能の一つ、プリクラッシュブレーキを体感いただく事で、事故を未然に防ぐ事が出来る安心をお伝えしています。